



2020 年 11 月 2 日

各位

会社名 アイペットホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役CEO 山村 鉄平
(コード番号：7339 東証マザーズ)
問合せ先 取締役CFO 工藤 雄太
(Mail：ir@ipet-hd.com)

＜マザーズ＞投資に関する説明会開催状況について

以下のとおり、投資に関する説明会を開催いたしましたので、お知らせいたします。

○開催状況

開催日次 2020 年 11 月 2 日 13:30～14:30
開催方法 機関投資家・アナリスト向け決算説明会をライブ配信
視聴者からチャットにて質問を受け付け、回答を実施
開催場所 株式会社フィナンテック
東京都中央区日本橋兜町 13-1 兜町偕成ビル別館 4 階
説明会資料 2020 年度第 2 四半期決算説明資料(アイペット損害保険株式会社分)

【添付資料】

1. 投資説明会において使用した資料

2020年度第2四半期

決算説明資料

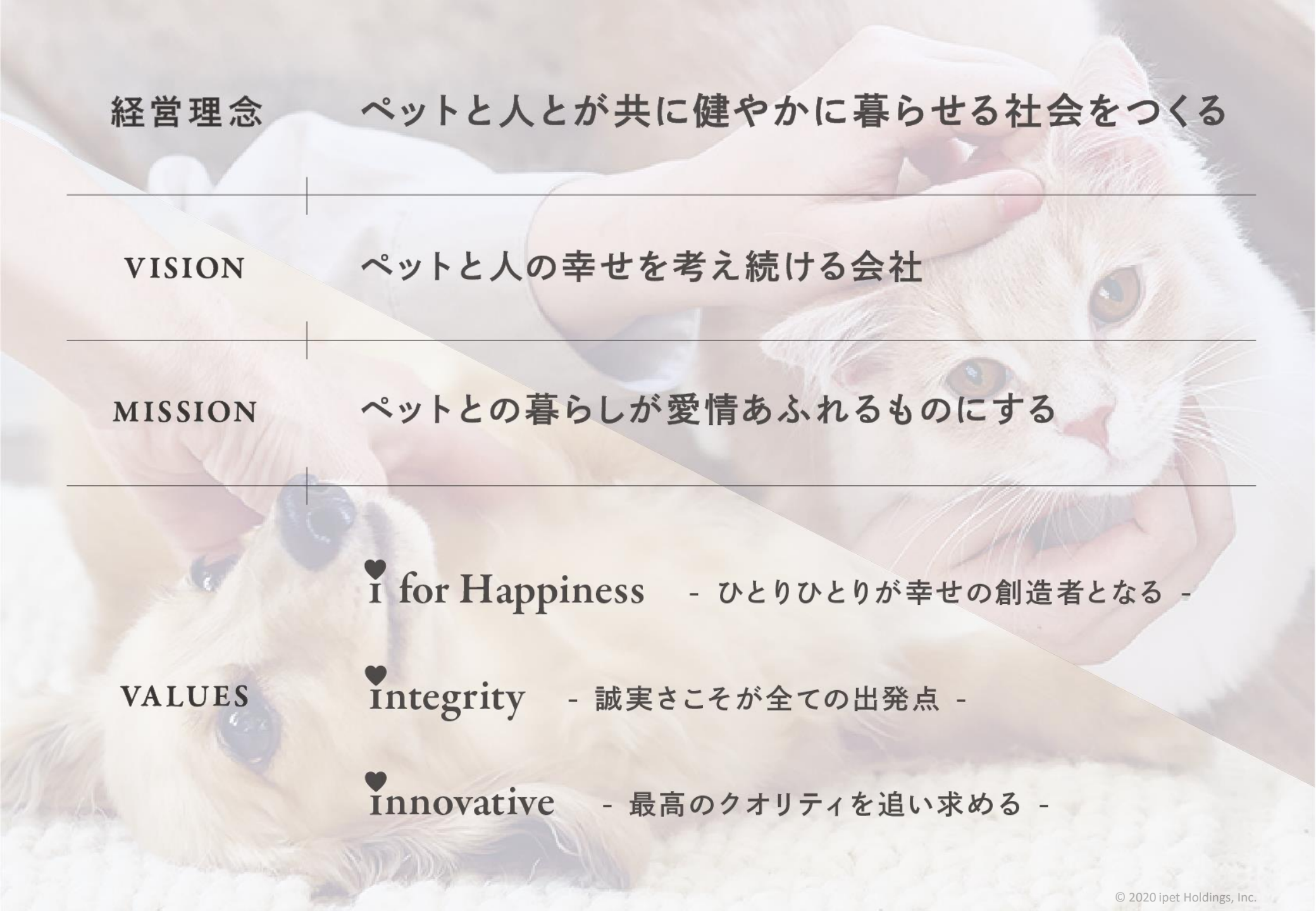
【アイペット損害保険株式会社分】

アイペットホールディングス株式会社（証券コード:7339）

2020年10月29日

当社は、2020年10月1日にアイペット損害保険㈱の完全親会社として単独株式移転により設立され、持株会社体制へ移行し、同日に新規上場いたしました。

アイペット損害保険㈱の2020年度第2四半期決算説明資料を、当社が代わって開示しております。



経営理念

ペットと人々が共に健やかに暮らせる社会をつくる

VISION

ペットと人の幸せを考え続ける会社

MISSION

ペットとの暮らしが愛情あふれるものにする

VALUES

♥ I for Happiness - ひとりひとりが幸せの創造者となる -

♥ Integrity - 誠実さこそが全ての出発点 -

♥ Innovative - 最高のクオリティを追い求める -

保険契約の状況

- 新規契約** ▶ 旺盛なペット需要を背景に、新規契約は極めて順調に推移
- 継続契約** ▶ 業界トップクラスの高水準な契約継続率（約90%）を維持
- 保有契約** ▶ 保有契約件数は過去最速の約5か月で5万件増加し、2020年8月24日に55万件を突破（2020年9月末時点:562,993件）

グループ経営展開

持株会社の設立

10月1日

- ▶ 損害保険会社、その他子会社の経営管理を目的として、アイペットホールディングス株式会社を設立

ペットファースト 少短を子会社化

10月1日

- ▶ 事業領域の拡大を目的とした少額短期保険業態の活用も検討

ペットオーライ 株式譲渡契約

10月21日

- ▶ オンライン健康相談プラットフォーム運営事業を(株)リクルートから譲受けるペットオーライ(株)を子会社化へ(当局承認が前提)

事業規模の拡大、シナジー創出、収益力の強化を見込む

持株会社体制における事業展開について

持株会社体制へ移行し、ペットオーナーの悩み、ひいては社会的課題を解決するために事業領域を拡大する

2021年初頭からの事業開始を目指し、当局承認取得への準備が進行中

現時点の体制案

2020年9月まで

アイペット損害保険株式会社

2020年10月から

アイペットホールディングス株式会社

アイペット損害保険株式会社

ペットファースト少額短期保険株式会社

【持株会社】

2020年10月1日設立

【ペットファースト少額短期保険】

2020年10月1日に株式取得により子会社化

2021年1月から（目標）

アイペットホールディングス株式会社

アイペット損害保険株式会社※

ペットオーライ株式会社

〇〇株式会社

△△株式会社

※子会社としたペットファースト少額短期保険を含む

【ペット関連の事業を行う会社】

2021年1月より順次、子会社化を目指す
（子会社化には当局の承認が前提）

ペット保険会社としての潜在能力を発揮し、ペットと人にまつわる社会的課題の解決につながる“社会インフラ”としての、持続可能な競争力の構築を目指す。

事業を通じた環境負荷の低減(E)、ペットと共に健康で幸せに生きられる社会への貢献(S)、ガバナンスの強化による信頼性向上(G)等の取り組みを、更なる成長に活かします。

Environment

ビジネスプロセスの変革や 環境に配慮した取り組み

- ・ デジタイゼーション推進によるペーパーレス化
 - デジタルマーケティング
 - ご契約者さま専用「マイページ」の活用 等
- ・ 営業車へのエコカーの活用
- ・ 共生環境向上、環境美化への啓蒙活動
 - しつけに関する情報発信、啓蒙活動
 - オリジナルウンチ処理袋の配布

環境負荷の低減へ

Social

ペット保険の普及拡大や ペットに関わる社会貢献

- ・ ペット保険による飼い主さまの支援
- ・ 持株会社化によるペットに関わる社会的課題への取り組み
- ・ 青森県との動物愛護に関する連携協定
- ・ 各種情報発信、啓蒙活動
- ・ 動物福祉に関する活動等への寄付、支援
- ・ 従業員の働きがい
 - ペット休暇、ペット忌引き制度等
- ・ 若手、女性の登用等

ペットと健康で幸せに
暮らせる社会へ

Governance

ガバナンスの強化

- ・ 取締役会の監督機能強化、透明性の向上
 - 監査等委員会設置会社への移行
 - 任意の指名・報酬諮問委員会の設置※
- ・ 保険金不正請求防止への取り組み
- ・ コンプライアンス・リスク管理の一層の強化

※2020年10月1日付でアイペットホールディングス(株)に設置しています。

より信頼される
ペット保険会社へ

ペット保険事業の推進、進化により、ペットと人間が共に健康で幸せに生きていけるような社会を目指し、「ペットと人のSDGs」に取り組んでまいります。

重点目標	具体的な取組み（例）	対応するSDGsの目標
ペットと共に健康に	- ペット保険の提供 - ペットの病気やケガに関する情報発信、啓蒙活動 「うちの子 HAPPY マラソン」への特別協賛	   
ペットと共に安全に	- ペットの防災に関する情報発信、啓蒙活動 - 災害救助犬の育成支援	  
ペットを飼っている人も飼っていない人も幸せに	- しつけに関する情報発信、啓蒙活動 - マナー啓蒙活動の実施	  
全ての命に愛を	- 青森県との動物愛護に関する連携協定 - かるた、カレンダーの写真投稿企画での寄付活動 「ペットのおうち*」への「ノミ・マダニ駆除薬」支援 - 終生飼養に関する情報発信、啓蒙活動	      
保険会社としての信頼性の更なる向上に向けて	- お客さま主義の推進 - ガバナンス強化 - 保険金不正請求防止に向けた取組み - コンプライアンス・リスク管理の更なる強化 - デジタルイノベーションの推進によるペーパーレス化 - 営業車にエコカーを活用	    
「うちの子」である従業員の健やかな生活と成長に向けて	- ペット休暇、ペット忌引きの導入 - 女性の活躍推進 - ワークライフバランスの促進 - ダイバーシティの推進 - 防災対策強化 - オンラインでの従業員教育	    



決算ハイライト

当社は、日本の会計基準（J-GAAP）の他に、
経営管理指標（Non-GAAP）にて経営成績の開示を
行っております。

当社は、Non-GAAP指標を重要な指標と考えており
ます。
詳細はAPPENDIXおよび決算短信をご参照ください。

(4-9月の累計、対前年同期比較)

1. 保険契約の順調な積み上がりにより、トップラインは順調に伸展

経常収益 8,646百万円 ▶ 10,744百万円 **+24.3%**

2. 新規契約獲得の好調による費用増、保険金の支払請求頻度の高まりのため、利益は減少

調整後経常利益 590百万円 ▶ 477百万円 **▲19.1%**

調整後当期純利益 407百万円 ▶ 323百万円 **▲20.7%**

対前期比では減益も、おおむね通期予想(計画)どおりに進捗中

2020年度第2四半期決算サマリー

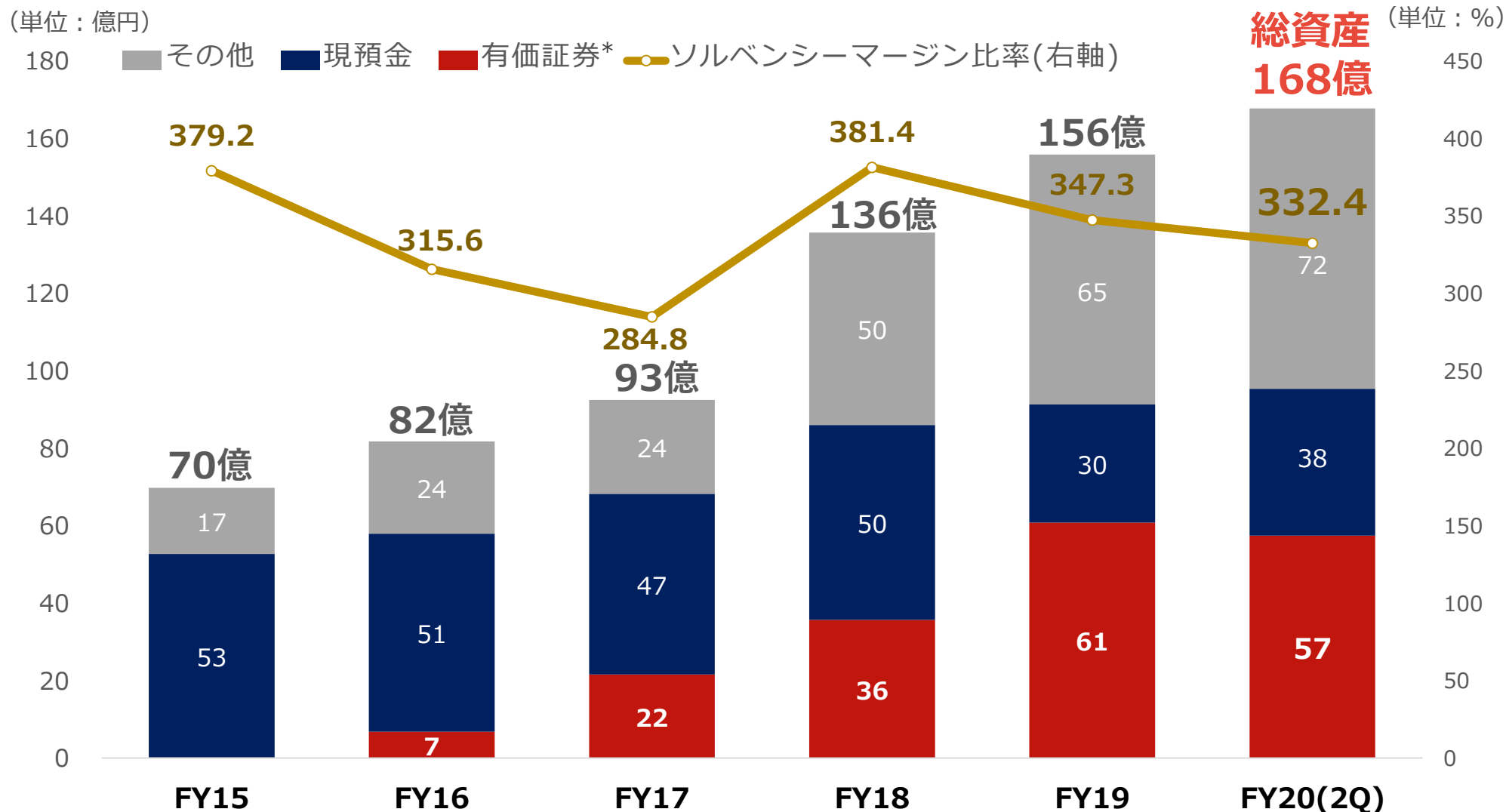
※ 未經過保険料方式 (Non-GAAP)

(単位: 百万円)

2Q単独ベース (7-9月)	①FY19 7-9月	②FY20 7-9月	(②-①)/① 前期比	③FY20 通期予想	②/③ 貢献率
経常収益	4,428	5,548	+25.3%	21,900	25.3%
調整後 経常利益	358	251	△30.0%	1,090	23.0%
調整後 当期純利益	245	168	△31.6%	750	22.4%
2Q累計ベース (4-9月)	①FY19 4-9月	②FY20 4-9月	(②-①)/① 前期比	③FY20 通期予想	②/③ 進捗率
経常収益	8,646	10,744	+24.3%	21,900	49.1%
調整後 経常利益	590	477	△19.1%	1,090	43.8%
調整後 当期純利益	407	323	△20.7%	750	43.1%

総資産とソルベンシーマージン比率の推移

着実に総資産を積み上げており、資産運用収益の安定化にも寄与している



* 有価証券には「金銭の信託」を含んでいる。

業績影響

保険引受収益は、**プラスの影響**

- 新規契約** ▶
- ・ 旺盛なペット需要を背景に、極めて順調に推移
 - ・ 新規契約件数は過去最高を更新

- 継続契約** ▶ 継続率に低下傾向はみられず、高い水準を維持

当社の対応

お客さま対応の維持 と全役職員の **健康と安全を最優先**

- お客さま向け** ▶
- ・ 継続契約変更や保険料払込みの猶予措置を実施
 - ・ 引受、保険金支払、コールセンター等の対応体制を維持
- ⇒お客さまに選ばれるペット保険会社であり続ける

- 社内向け
(全役職員)** ▶
- ・ 3月より危機対策会議を設置し、在宅勤務を導入
 - ・ 今後もリモートワークを前提に生産性を高める

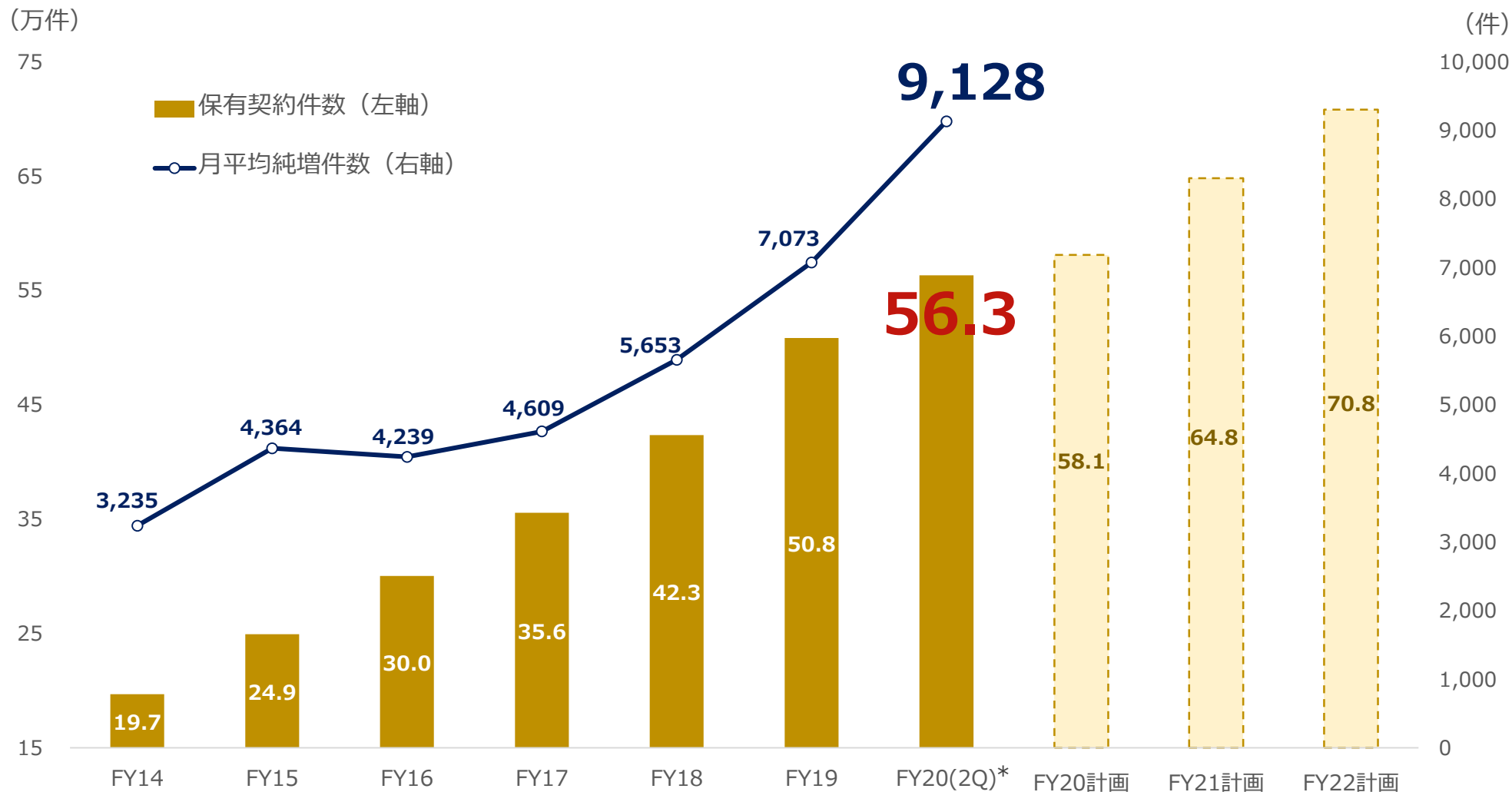


指標の状況について

保有契約件数と純増件数の推移

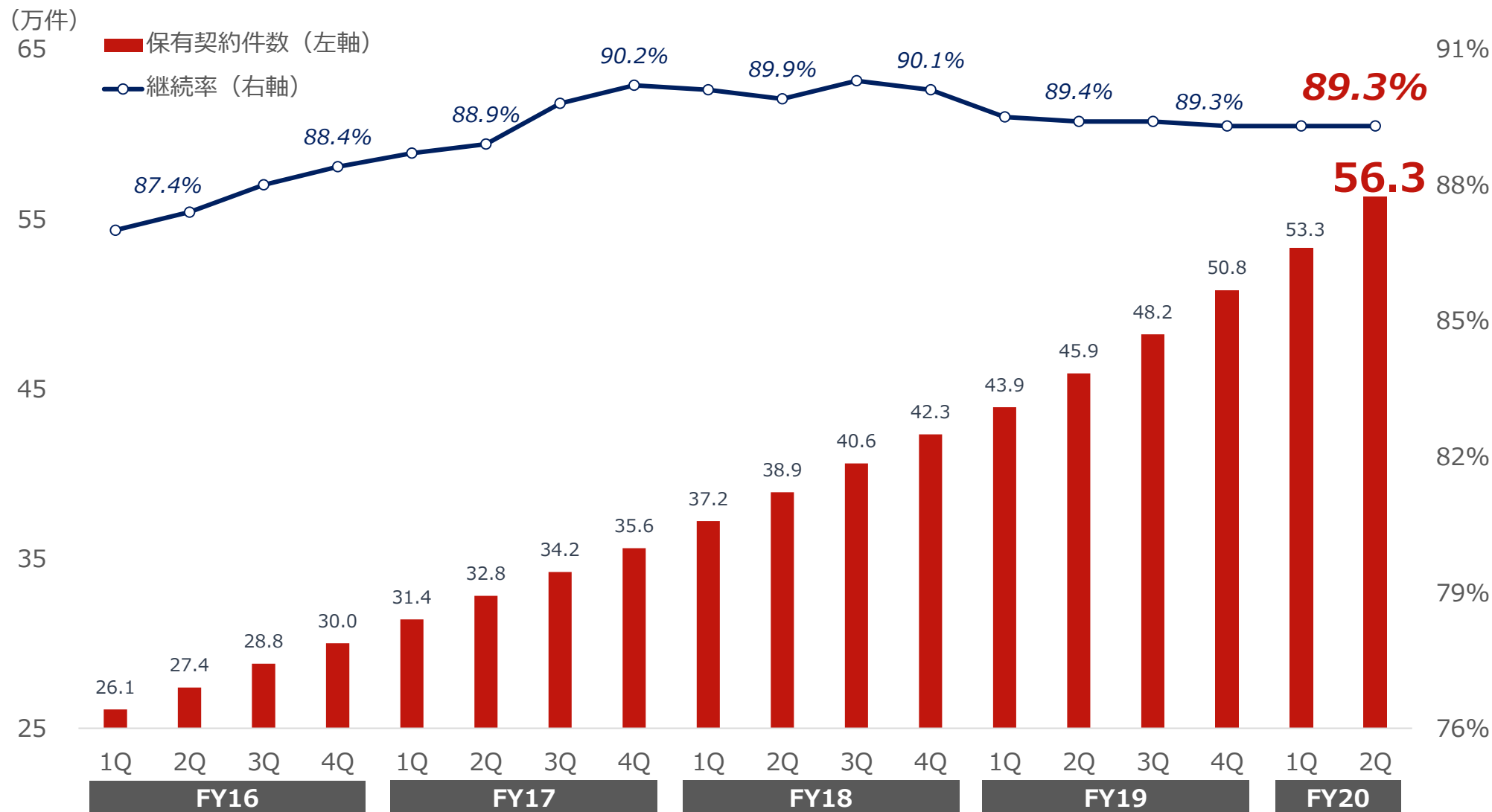
FY20も、新規契約件数ならびに純増件数は順調に増加

⇒保有契約件数は計画を上回るペースで拡大中（2020年9月末時点 562,993件）



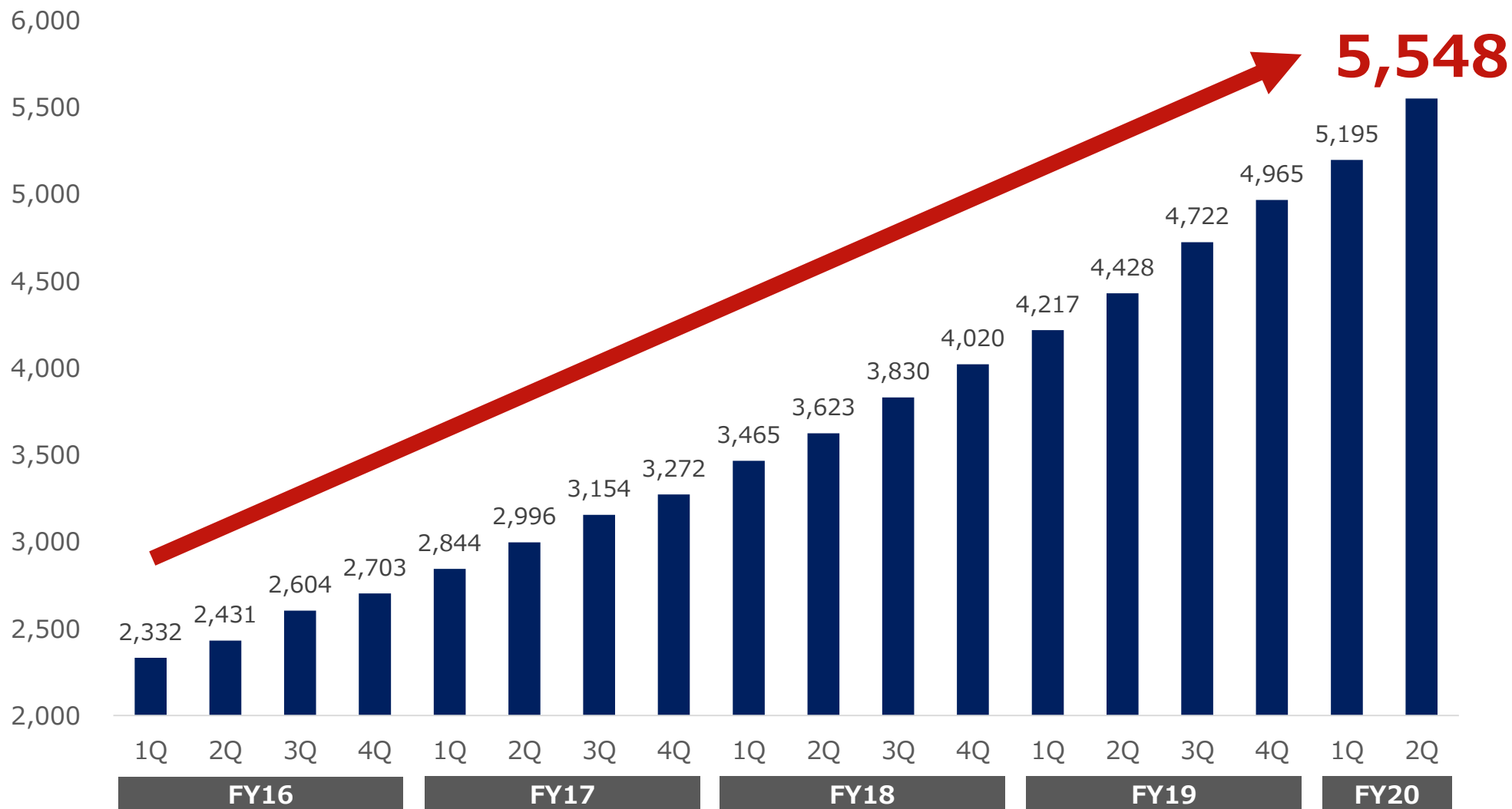
* FY20(2Q)は2020年9月末時点および2020年4～9月の実績

好調な新規契約とトップクラスの継続率が、保有契約件数の続伸を実現



事業規模の高成長は維持しつつも、高水準の増収率を達成

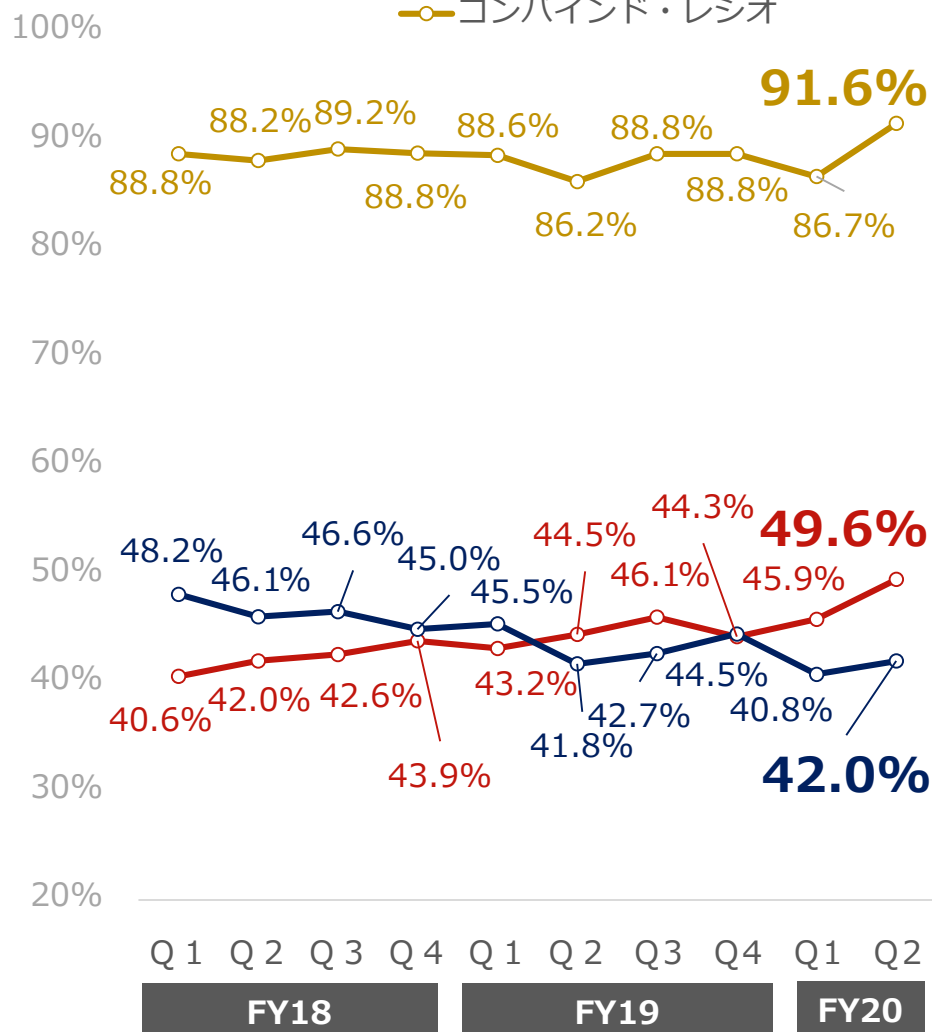
(単位：百万円)



(四半期毎) 損害率・事業費率の推移

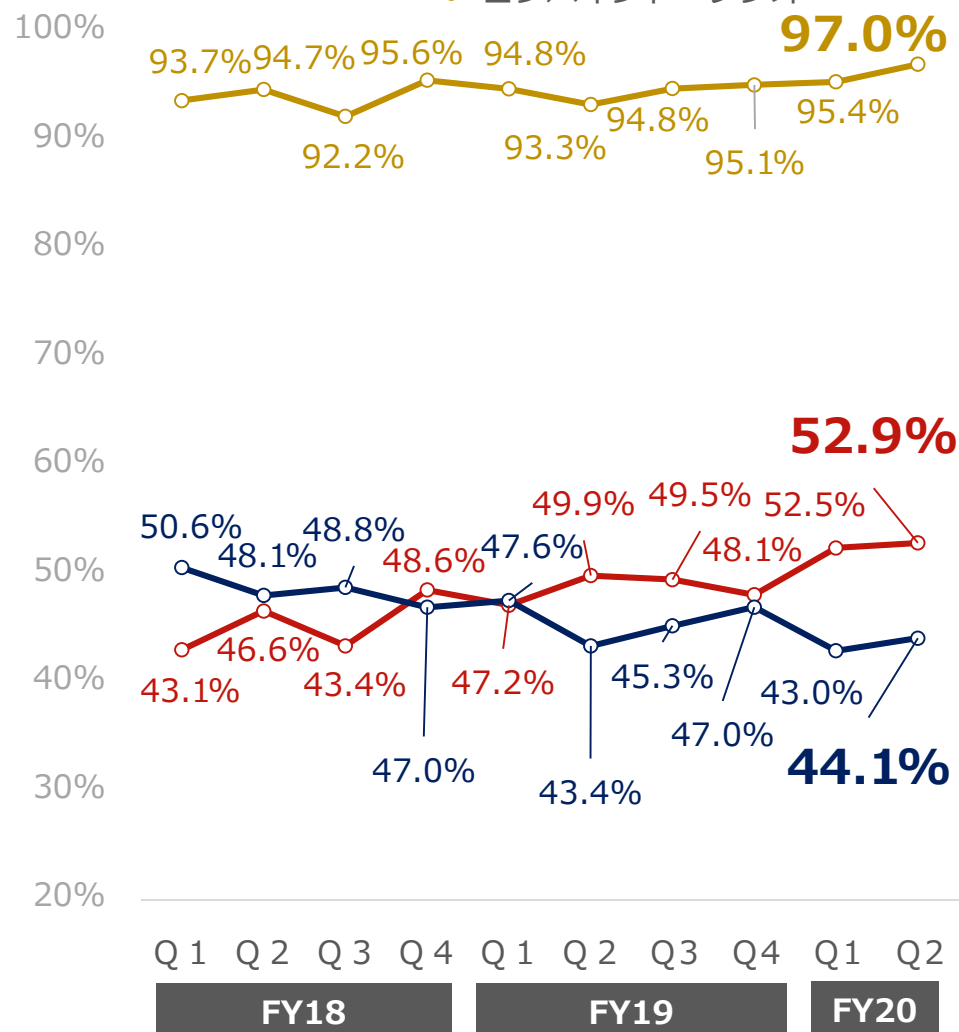
正味ベース

- 損害率
- 事業費率
- コンバインド・レシオ



既経過ベース

- 損害率
- 事業費率
- コンバインド・レシオ





Non-GAAPベースの業績

(4-9月の累計、対前年同期比較)

要約損益計算書（Non-GAAP：未経過保険料方式）

(単位：百万円)

	FY19 2Q	FY20 2Q	前期比
経常収益	8,646	10,744	+24.3%
保険引受収益	8,534	10,580	+24.0%
資産運用収益	89	142	+59.6%
その他経常収益	22	21	▲4.6%
経常費用	8,330	10,606	+27.3%
保険引受費用	5,585	7,762	+39.0%
資産運用費用	4	51	+1,017.8%
営業費及び一般管理費	2,734	2,780	+1.7%
その他経常費用	5	11	+129.7%
経常利益	316	137	▲56.4%
特別損失	3	3	▲12.8%
税引前当期純利益	312	134	▲56.9%
法人税等	102	55	▲45.6%
当期純利益	210	79	▲62.4%

主な勘定科目の増減理由

保有契約件数の拡大に伴い順調に増加

有価証券売却益 +80百万円
利息配当金収入 ▲15百万円

正味支払保険金 4,719百万円
(前期比+37.8%)
諸手数料及び集金費 1,603百万円
(前期比+62.9%)
責任準備金繰入額 857百万円
(前期比+36.5%)

有価証券売却損 +47百万円



J-GAAPベースの業績

(4-9月の累計、対前期比較)

要約損益計算書 (J-GAAP: 初年度収支残方式)

(単位：百万円)

	FY19 2Q	FY20 2Q	前期比
経常収益	8,646	10,744	+24.3%
保険引受収益	8,534	10,580	+24.0%
資産運用収益	89	142	+59.6%
その他経常収益	22	21	▲4.6%
経常費用	8,405	10,545	+25.5%
保険引受費用	5,661	7,701	+36.0%
資産運用費用	4	51	+1,017.8%
営業費及び一般管理費	2,734	2,780	+1.7%
その他経常費用	5	11	+129.7%
経常利益	240	198	▲17.5%
特別損失	3	3	▲12.8%
税引前当期純利益	236	195	▲17.6%
法人税等	80	72	▲10.4%
当期純利益	156	122	▲21.4%

要約貸借対照表 (J-GAAP: 初年度収支残方式)

(単位：百万円)	FY19末	FY20 2Q	前期末比
資産合計	15,599	16,778	+7.6%
現金及び預貯金	3,050	3,790	+24.3%
有価証券等	6,203	5,862	▲5.5%
繰延税金資産	1,017	1,082	+6.4%
その他資産	5,327	6,042	+13.4%
負債合計	10,018	10,996	+9.8%
保険契約準備金	8,869	9,914	+11.8%
うち支払備金	1,290	1,538	+19.2%
うち責任準備金	7,579	8,376	+10.5%
その他負債	1,148	1,082	▲5.8%
純資産	5,580	5,782	+3.6%
資本金	4,118	4,119	+0.0%
ソルベンシー・マージン比率	347.3%	332.4%	▲14.9%

主な勘定科目の増減理由

金銭の信託 1,020百万円
(+7百万円)
有価証券 4,726百万円
(▲341百万円)

ソフトウェア仮勘定 2,228百万円
(+245百万円)
未収保険料・未収金 2,458百万円
(+268百万円)

初年度収支残 5,233百万円
(+ 457百万円)
異常危険準備金 3,143百万円
(+ 339百万円)

未払法人税等の減少 ▲35百万円
賞与引当金の減少 ▲31百万円



APPENDIX

株主優待制度のご案内

毎年3月31日及び9月30日時点の株主名簿に記載された当社株式1単位（100株）以上を保有する株主さまに対し、所有株式数及び保有期間に応じた**株主優待ポイント**を右表の通り贈呈いたします。

保有株式数	保有期間 初年度	保有期間 2年目以降
100株～199株	3,000ポイント	3,300ポイント
200株～399株	5,000ポイント	5,500ポイント
400株～599株	10,000ポイント	11,000ポイント
600株～799株	20,000ポイント	22,000ポイント
800株～999株	30,000ポイント	33,000ポイント
1,000株～1,999株	40,000ポイント	44,000ポイント
2,000株以上	80,000ポイント	88,000ポイント

従来と同様、株主さま限定の特設インターネットサイト*において、**株主優待ポイント**をペット用品、雑貨、食品、電化製品、ギフト、旅行・体験などに交換できます。

なお、右の図は、優待ポイント交換商品ラインナップの一例です。

* URL : <https://ipet.premium-yutaiclub.jp>

10,000ポイント	15,000ポイント	20,000ポイント	40,000ポイント
 魚沼産コシヒカリ 5kgx2袋	 <焼付> 北寄産あわびのやわらか煮 70g(焼付量)x6個	 <ビタウサフト> ミニパン3点セット 鉄用蓋1枚付 容量:大2.1L、中1.5L、小0.8L	 <Ricardo Beverly Hills> AILERON VAULT 19-INCH INTL. CARRY-ON BLACK サイズ: (約)55x33x23 3.6kg
 <アイソシアル> フリーランドリー(2個入り) コセット	 <有楽園> 辛子明太子 450g x 3個 賞味期限: 出荷日より冷凍90日	 かに海鮮鍋 4~5人前 賞味期限: 出荷日より冷凍25日	 北寄産 活葉毛がに・ いくら醤油漬け合せ 賞味期限: 出荷日より冷凍90日

※写真等はイメージです。実際の商品とは異なる場合がございます。

初年度収支残方式と未経過保険料方式

- ・損害保険会社は、普通責任準備金として未経過保険料残高と初年度収支残高の**いずれか大きい方**を負債計上する必要がある（保険業法施行規則第70条1項1号）
- ・アイペット損害保険は、初年度収支残高が未経過保険料残高を上回っているため、**制度会計上初年度収支残方式**によるが、経営管理上は、**発生主義**に即した**未経過保険料方式**を使用

初年度収支残方式と未経過保険料方式

[前提] ●期中に一時払で100の入金、うち×1年度末での未経過保険料50
●保険金、事業費はそれぞれ下図の通り

×1年度

保険料	50	50	100
保険金	20	20	40
事業費	25	25	50

初年度収支残方式

	×1年度	×2年度
保険料	100	0
(-)保険金	20	20
(-)事業費	25	25
差引	55	▲45
(-)準備金	55	▲55
利益	0	10

初年度の利益は0

未経過保険料方式

	×1年度	×2年度
保険料	100	0
(-)保険金	20	20
(-)事業費	25	25
差引	55	▲45
(-)準備金	50	▲50
利益	5	5

発生主義による利益

(4-9月の2Q累計ベース)

(単位：百万円)

		FY19 2Q	FY20 2Q	FY20 通期予想
Non-GAAP	A) 調整後経常利益 (=B+C)	590	477	1,090
	B) 経常利益	316	137	400
	C) 異常危険準備金影響額	273	339	690

- ・当社は、経営者が意思決定する際に使用する社内指標（Non-GAAP：未経過保険料方式）と、日本基準（J-GAAP：初年度収支残方式）に基づく指標の双方で経営成績を開示*
- ・当社は、**調整後経常利益**（＝未経過保険料方式の経常利益±異常危険準備金**影響額）を経営実態を適切に表す経営管理用の利益指標として使用
- ・異常危険準備金は、異常災害による損害の填補に備えるため、事業年度ごとに収入保険料に3.2%を乗じた金額を責任準備金として負債計上する必要がある**
(保険業法施行規則第70条1項2号)
- ・今後も、**業績予想は「Non-GAAP：未経過保険料方式」のみ**で開示

* 上場企業のうち、初年度収支残方式に基づく損害保険会社は当社以外は存在していない
 ** 当社の損害率が大蔵省告示第232号第2条の別表で記載されている基準損害率50%を下回るため

- ・本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」（forward-looking statements）を含みます。
- ・これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。
- ・それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。
- ・今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合でも、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。

本資料および当社IRに関するお問合せ先

アイペットホールディングス(株)

経営管理部 財務経理グループ

E-mail : ir@ipet-hd.com

